

会報
第25号
2018年2月



一般社団法人赤煉瓦倶楽部半田
会報
発行人/理事長 馬場信雄
〒475-0836 半田市青山5-2-14
TEL/FAX:0569-24-4324
http://www.akarenga-handa.jp
E-mail:redbrickhanda@yahoo.co.jp

NEWS目次

<ul style="list-style-type: none"> ■ 01 倶楽部創立20周年記念式典 ■ 02 平成28年度定時総会 ■ 03 平成29年特別展開催 ■ 04 第1回カプトビールフェスタ ～アサヒビールとの競演～ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 05 第2回キャナルナイト開催 ■ 06 第8回はんだ山車まつり出店 ■ 07 2017赤煉瓦ネットワーク全国大会 in 敦賀 ■ 08 妻木頼黄のふるさとを訪ねて 今後の事業計画 ① 雛まつり ② 2018 特別展
---	--

NEWS 01

倶楽部創立20周年記念式典開催!!

9月9日、半田赤レンガ建物にて赤煉瓦倶楽部半田創立20周年記念式典と半田市制80周年を記念して早稲田大学教授佐々木葉氏による講演会、並びに記念祝賀会が開催されました。式典では平岡理事の開会宣言に続き、馬場理事長からは、



平成9年9月に半田赤レンガ建物を保存しようとする有志が集まり、非常に厳しい環境の中、立ち上げの際にご支援をいただいた赤煉瓦ネットワークの皆さんや、その当時日本福祉大学におられた佐々木葉先生に対してお礼の言葉を述べました。



「あつという間に過ぎた20年ですが、リニューアルオープンを果たし、今では年間

50万人を超える来場者数で、素晴らしい成績になったと思います。当初から考えると夢のまた夢のように思えてなりません。」



と締めくくりました。榊原純夫市長、中埜喜夫半田商工会議所副会頭、丸山悟日本福祉大学理事長、

赤煉瓦倶楽部舞鶴 馬場英男理事長、(株)JTBPromotion高木浩代表取締役より祝辞を戴きました。(榊原記)

NEWS 02

平成28年度総会開催される!!

6月17日倶楽部の平成28年度(第4期)の総会を半田赤レンガ建物で行い、会員総数93名中委任状を含む70名の出席で成立しました。

ご来賓には半田市長、市民経済部長、半田市観光協会事務局長、半田赤レンガ建物館長をお迎えし開会、馬場理事長からの挨拶半田市長の祝辞に続き議事を進行、議事録署名人選任、28年度事業報告・会計報告を順次承認しました。羽田監事の監査報告を差し置き、馬場理事長が29年度方針を発言するハプニングがありましたが、創部20周年となる29年度事業計画・会計予算の説明と承認を行い、観光協会から情報提供を頂いた後、無事総会を終了しました。

総会后、カフェで第2部の懇親会を開催、恒例となった生カプトビールで乾杯し、料理とカプトビールを楽しみながら、20周年記念行事に向けた話題等で盛り上がりました。(宮原記)

■NEWS 03

平成29年度特別展開催される!!

平成29年4月22日～5月21日の1か月間、



平成29年特別展が開催された。テーマは「全国の赤煉瓦建物ぶらり旅」。毎年開催されている赤煉瓦ネット

ワークの全国大会に参加している当倶楽部の会員は多くの全国の素晴らしい赤煉瓦建物を見てきました。今回、全国の多くの素晴らしい赤煉瓦建物を皆さんに知っていただきたいこと、また明治の五大監獄といわれる建物が鹿児島を除いて赤煉瓦でつくられたのは何故なのか、その時代背景についても皆さんに知っていただきたいとのコンセプトからテーマを決定しました。期間中の入場者数は23,510人でした。



特に人気があったコーナーは、まちかどの近代建築写真展と日本赤煉瓦建築番付でした。ゴールデンウィーク期間中遠方からのお客様が多く、まちかどの近代建築写真展を見



られ、おらが町の赤煉瓦建物を発見すると皆さん子供のようにはしゃいで見えました。また、日本赤煉瓦建築番付表に記載されている赤煉瓦建物の多さ並びに半田赤レンガ建物が東の大関にランクされていることに一様に感動されているのが印象的でした。そして、テーマ別コーナーでは、明治の五大監獄が奈良少年刑務所の話題並びに山下洋輔に関係していることで注目を浴びていました。今回の特別展で展示した赤煉瓦建物の数は約250棟で、おそらく過去からも日本最大級の赤煉瓦建物展ではないかと思っています。特別展開催に際し、赤煉瓦ネットワーク会員の大阪・佐藤啓子様、舞鶴・馬場英男様、江別・石垣秀人様、まちかどの近代建築写真展様に絶大なるご協力をいただいた結果実現することができました。本当に感謝したいと思います。(馬場記)

■NEWS 04

第1回カブトビールフェスタ開催!! ～アサヒビールとの競演実現～

連日猛暑の中、7月15日・16日・17日に「カブトビールフェスタ 2017」が開催されました。



昨年は周年祭として開催しましたが、今年は半田赤レンガのイベントらしく銘打ったものと



なりました。もちろん当倶楽部として全力で挑み～歴史的伝説となっている明治28年京都で開催された博覧会会場での「カブトビールとアサヒビールとの競演」ビアホールを再現し、来場



者も醍醐味を感じていただいたと思います。また、今回アサヒビール資料室から絶大なるご協力をいただき貴重な資料提供も

実現しまして企画展示室では「カブトビールとアサヒビールのゆかり展」を開催することが出来ました。沢山の方にカブトビールの価値観に興味を持っていただいた展示会となり、倶楽部としても次回に向けてさらなる仕掛けを推し進めていく決意となった3日間でした。(左右木記)

■NEWS 05

第2回半田運河キャナルナイトへ出店

8月18日(金)・19日(土)第2回半田運河キャ

ナルナイトが開催され、倶楽部として出店し、生カブトビールの販売並びに半田赤レンガ建物の広報活動を行



いました。昨年の倍以上の2000個を超えるヒカリノ玉が半田運河に浮かび幻想的な空間が演出されました。蔵のまち公園まで拡張されたグルメ広場での出店。生カブトビールは市長さんはじめたくさんの夕涼みの市民のみなさんの喉を潤しました。準備や後片付けは大変だったけど、いい汗をかいた2日間でした。(永田記)

■NEWS 06

第8回 はんた山車まつりへ出店

10月7・8日、半田市で「第8回 はんた山車まつり」が開催され、5年に一度 市内31輛の山車が一堂に会するビッグイベントに県内外より55万人もの来場者がありました。我が倶楽部も半田の観光拠点を代表する「半田赤レンガ建物」を広くPRするため、復刻 明治・大正カプトビールを半田に訪れた来場者に販売し 味わっていただきました。グルメブースのセンターで 一際目立つカプトビールの看板は、多くの注目を集め 行列のできる人気で、たくさんの人々に効果的なアピールができました。(平岡記)



「第8回 はんた山車まつり」が開催され、5年に一度 市内31輛の山車が一堂に会するビッグイベント



■NEWS 07

2017 赤煉瓦ネットワーク全国大会 in

敦賀(11月4日・5日)

初日早朝、専用バスにて知多半田を出発、日本福祉大 COA2 名を含む総勢 19 名で敦賀に向かいました。オープニング会場は「きらめき港館」、THAP 理事長池田裕太郎氏の開催



宣言に続き、渚上敦賀市長、有馬敦賀商工会議所会頭のご挨拶、そして2018年秋に開催される「福井しあわせ元気国体」のPRが行われました。

続いて小雨の中、見学会へ。旧北陸本線のトンネ

ルとして1881(明治14)年に建設された「小刀根(ことね)トンネル」、1882(明治15)年に建築された国内最古の「旧敦賀港駅ランプ小屋」を巡りました。「敦賀赤レンガ倉庫」で圧巻の「鉄道ジオラマ」とLED電球約40万個を用いた「敦賀港イルミネーションミライエ」点灯式を堪能した後はお待ちかねの懇親会。明治・大正カプトビールを景品としたジャンク



ン大会を馬場理事長直々に仕切られ、大いに会場を沸かせました。赤煉瓦ネットワーク運営委員から次回の全国大会を横浜市、次次

回を岸和田市で開催することが発表され、敦賀から横浜へ恒例の“ネットワーク旗”の引継ぎ式が行われました。

2日目はシンポジウム。会場の「敦賀市立博物館」は、旧大和田銀行本店をリノベーションした建物で、当時の重厚な西洋建築を活かした趣のある施設です。



活動報告のトップ

は、我らが馬場理事長。「20年間のあゆみと新たなステージに向けて」のタイトルで、動画映像を使って熱弁されました。続いて山岡関西煉瓦流通研究所代表が消滅した泉州の煉瓦を再び呼び戻す活動を、松永奈良少年刑務所を宝に思う会事務局長が民間委託されるまでの経緯を報告されました。基調講演では、外岡敦賀市立博物館館長が、「敦賀の歴史と現状」を説明され、知多半島との類似と相違の発見がありました。

後半のワークショップでは、「敦賀の魅力と未来」と題し、歴史・港・鉄道遺産の3つのテーマでまちづくりに関わる高校生と団体による発表が行われました。印象に残ったのは5名の高校生による発表で、新鮮で豊かな発想による内容に関心しました。半田においても学生や高校生を巻き込んだ活動により、半田の宝を次の世代に託して行けるよう取り組んでいければと思います。キーワード

■ 定 款 (抄)

【法人の名称】

一般社団法人赤煉瓦倶楽部半田

【目 的】

当法人は、貴重な旧カプトピール工場の半田赤レンガ建物及び旺盛な起業家精神を顕彰するとともに、後世に引き継ぎ、それを活かしたまちづくりに関する事業を行うとともに、赤煉瓦に関するネットワークと連携し、赤煉瓦を活かしたまちづくりを支援する活動を行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

【会 費】

(1) 入会金 1,000 円

(2) 年会費

① 個人会員 2,000 円

② 法人・団体会員 10,000 円

(団体は 10 名以上)

③ ボランティア会員 無料

【活動年度】

毎年 4 月 1 日～翌年 3 月 31 日

総会は、毎年 1 回開催する

【運 営】

当会の運営は理事会で行う。運営にあたり次の役員を置く。

(1) 理事 5 人以上

(2) 監事 1 人以上

理事のうち、一人を理事長、二人を副理事長とする。

【事業年度】

毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの年 1 期とする。

■ 編集後記

平成 29 年度 (H29.4～H30.3) もあと 1 か月で終了です。平成 29 年度の事業は 20 周年記念式典、はんだ山車まつりという特別な行事が重なり、大忙しの年でした。多くの会員の皆様にご参加・ご支援いただき無事に終えることができました。厚くお礼申し上げます。さて、今後は平成 30 年度の事業計画づくりです。来場者数はほぼ順調に推移していますが、リニューアルオープンから本年度で 3 年となります。ここで、少し立ち止まり、本当に倶楽部として、また会員として何を期待したいのか、何をしたいのかについて考えてみる必要が有ると思っています。(事務局 BB)

は「若者」と再認識させられた今回のシンポジウムでした。(竹内進、水野、中野記)

■ NEWS 08

妻木頼黄のふるさとを訪ねて!!

平成 30 年

5 月開催予

定の特別展

「妻木頼黄

展(つまき

よりなか)」

の題材収集

のため、調

査研究委員会において岐阜県土岐市妻木町を訪問

した。妻木頼黄という人物は？ 倶楽部員なら誰でも知っている半田赤煉瓦建物の設計者です。

妻木町にある妻木城城主の家系を持ち、旗本源三郎頼功の長男として誕生した。その後工部大学校造家学科卒(現東京大学建築学科)コーネル大学留学その後ドイツに留学する。今回は妻木頼黄のふるさとを訪問して、家族や生い立ちを調査するため、「城址の会」事務局長黒田氏にご面会し、妻木に関することを教えていただいた。また城址・家臣住居跡も見学することができた。

平成 30 年の特別展では取材した内容を発表することになります。調査研究委員会では、さらに幅広く煉瓦・カプトピールに関する調査研究できるように日頃よりテーマを探していきます。興味のおありの方是非ご入会ください。(小林記)



今後の事業計画

(1) 蔵のまち雑まつり

■日時:平成 30 年 3 月 1 日(木)～4 日(日)

■場所:半田赤レンガ建物クラブハウスC等

(2) 2018 特別展開催

■日時:平成 30 年 4 月 21 日(土)～

5 月 20 日(日)

■場所:半田赤レンガ建物

■内容:テーマ:妻木頼黄のすべてを辿る!!